

## 全国で共有できる基準範囲の設定は 我々臨床検査関係者の手で成し遂げよう！



あなたの参加が全国で共有できる基準範囲設定を具現化させる・・・

### ◇ 3600 を超えた日臨技精度管理調査参加施設

日臨技精度管理調査の施設数は 3600 数余になる。これは検体検査管理加算による要因が大きいと思われるが、全国で展開される“標準化事業のうねり”も一要因であり、トレーサブルな測定値を確保したいとする会員の想いでもある。

### ◇ 基幹施設ネットワークの構築と本格稼働

平成 19 年度より日臨技主導による臨床検査データ標準化を実現するために基幹施設ネットワークを構築し、全国的な標準化を実現するための事業を始めた。

日臨技では全国の臨床検査データ信頼性保証の達成を目指し、正確さを地域の施設まで伝達・指導できるトレーサビリティ連鎖システムを構築してきた。

各都道府県技師会からは本事業に対する理解と協力を得、地域における標準化活動の中核となる 172 基幹施設は認証標準物質による正確の確認および精度管理物質による長期精密さの維持を確保してきた。過去 2 年間の活動により基幹施設の測定値はトレーサブルが確保されていることが確認された。今年はこの事業の 3 年目であり、トレーサブルな測定値が確保された基幹施設としての集大成の年といえる。いよいよ基幹施設ネットワークにより地域の施設へ正確さが伝達され標準化を目指す、いわゆるパッチワーク方式の本格的な活動となる。

### ◇ 共有できる基準範囲が希求されている

臨床検査値の標準化は日本臨床検査標準化協議会、日本臨床衛生検査技師会の活動により進みつつあるが、基準範囲の共有化は未だ不十分な状況である。このことは施設毎に適切な方法で基準範囲を設定することの困難さを表しており、基準範囲の多施設共同設定と共有が強く求められている。そこで、日臨技では本邦において広く共有できる全国規模(10000 人程度)の基準範囲を設定し、臨床現場で活用するため、昨年より企画立案し準備してきた。

### ◇ 正確さが担保された基幹施設による基準範囲の設定の意義

臨床への信頼性の保証されたデータの提供と合わせて、正確さが確保された全国の基幹施設による基準範囲の設定は、まさしく標準化事業の目的とするところであります。検査データの標準化と基準範囲設定の両者が実現することにより臨床検査データが“何時でも、何処でも、同じものさし”で疾病の診断や疾病予防・国民健康増進に活用され、科学的根拠に基づいたデータベースが構築され、医療に貢献することとなると確信する。

### ◇ あなたの参加が全国で共有できる基準範囲設定を具現化させる

この事業の実現には都道府県技師会および会員のご協力が欠かせないものと考えているが、各基幹施設で多数のボランティアを確保することは大変困難なことで予想される。

そのためもあり、各都道府県技師会並びに会員諸氏には、趣旨をご理解いただき健常者ボランティアに参加頂きたくお願い申し上げます。正確さが確保された施設による基準範囲の設定の報告はこれまでありません。それだけにエビデンスに基づいた基準範囲を実現させる意義が非常に高いものと信じております。

会員の結束力により、日臨技発の基準範囲の設定を実現させて頂きたいと願っております。

【精度保障事業部 田中久晴】

## 第 59 回医学検査学会 「和」をテーマに和歌山県技師会が担当！

平成 22 年 5 月 22 日(土)、23(日)の 2 日間、神戸国際会議場、神戸国際展示場において第 59 回日本医学検査学会を担当させていただくことになりました。

第 58 回日本医学検査学会の懇親会では第 58 回学会実行委員会のみなさまのご厚意により、和歌山県・奈良県・三重県にまたがる世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を詣でる際に着用された着物で参加させて頂きました。

学会のメインテーマは「和」、サブテーマを「Innovation and Future」とさせて頂きました。日本には古くから「和を以て貴しとなす」、「和して同せず」、「和洋折衷」、「和衷共同」の「和」を含むことわざや熟語の教えが多くあり、古くて新しい「和」、そして和歌山の「和」をメインテーマとしました。臨床検査の「わ」一和・輪・環・話一を過去から現在へ、さらに未来へと繋いでいければと考えています。

特別講演Ⅰとして、理化学研究所神戸研究所発生・再生科学総合研究センターの若山照彦先生に「マンモスが復活する日」、特別講演Ⅱとしてタレントの山本シュウ氏に「レモンさんのビタミントーク～We are シンセキ！僕らは同じ血が流れてるんやで～」をご講演いただく予定となっております。

新しい企画も目白押しです。タイ国と共同で行う国際フォーラム、和臨技若手技師が企画するテーブルディスカッションとシンポジウム、各分野の基礎を学べる教育セッション、医学検査学会では初めての企画の一般市民参加型『HIV 啓発チャリティコンサート』ではアッ！！と驚くビックなアーティストの参加も予定しています。そのほか、VCT（無料 HIV 抗体検査と＋カウンセリング）も企画しております。また、学会前日には和臨技主催の『行列ができるスキルアップ研修』を開催します。こちらは事前申し込み制とさせて頂きますのでご了承ください。

一般演題の受付も間もなく開始します。なお、最新情報については学会ホームページをご覧ください。第 59 回日本医学検査学会が開催される兵庫県神戸市は平成 7 年 1 月 17 日の未明に発生した阪神・淡路大震災という未曾有の大災害から大きな人の（環・輪・和）、心の（環・輪・話・和）によって今日の復興に至っています。「わ」を身近に感じるこの神戸の地よりいろいろな「和」を皆様にお届けできればと思います。みなさんのお越しを和臨技会員一同、神戸でお待ちしております。

【第 59 回日本医学検査学会長 田中久晴】

